

『図解 IATF 16949 よくわかるコアツール【第3版】』正誤表

第1刷(2022年1月26日発行)までにおいて、誤りがありました。
お詫びするとともに以下のとおり訂正いたします。

2022年8月29日 日科技連出版社

頁	箇所	誤	正
194	図 6.24 ステップ 1、サンプル測定の実施、実施事項の②1 行目	n 個($n > 5$)	n 個

第2刷(2022年8月4日発行)までにおいて、誤りがありました。
お詫びするとともに以下のとおり訂正いたします。

2023年8月29日 日科技連出版社

頁	箇所	誤	正
109	図 4.35「内容」の列、上から6つ目のマス	各 4M に要求される機能を含む、作業の完了方法を満たさない方法	各 4M に要求される機能を含む、作業の完了方法を満たす方法
109	図 4.35「項目」の列、上から9つ目のマス	分析対象の故障モード(FE)	分析対象の故障モード(FM)
109	図 4.35「内容」の列、上から9つ目のマス	・故障モードは、製品内で検出可能/測定可能であること	削除
151	下から10行目	$\bar{X}-R$ 管理図	$\bar{X}-RS$ 管理図
194	図 6.24 ステップ 1、サンプル測定の実施、実施事項の②1 行目	n 個($n > 10$)	n 個
207	図 6.35 上の表、「内容」の列、上から5つ目のマス	d_2 の逆数($K_1 = 1/d_2$)	削除
207	図 6.35 上の表、「内容」の列、上から6つ目のマス	サブグループ数 $k=1$ のときの d_2^* の逆数($K_2 = 1/d_2^*$)	削除
207	図 6.35 上の表、「内容」の列、上から7つ目のマス	サブグループ数 $k=1$ のときの d_2^* の逆数($K_3 = 1/d_2^*$)	削除
212	左段下、から4行目	知覚区分数 204	知覚区分数 192、200